

令和6年度
地域づくり活動応援事業
実績報告集
(一般枠・特別枠)



(令和7年2月現在)

発行

兵庫県西播磨県民局

〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2-25
TEL:0791-58-2180 / FAX:0791-58-0523

目

次

事業名	実施団体			
【特別枠】				
(万博機運醸成事業)				
1 西播磨UT環境整備事業	龍野コンシェルジュ	・・・	1	頁
(水のさと魅力発信事業)				
2 コウノトリの子育て環境整備事業	上郡町でコウノトリを育む会	・・・	4	頁
3 醬(ひしお)アート展	三軌：兵庫西播磨の会	・・・	8	頁
(移住・定住促進事業)				
4 STAR GATE 2024 ～私たち移住しました！～	陰陽師の里江川フェスティバル実行委員会	・・・	11	頁
5 「めざせ！波賀森林鉄道定期運行」 安全対策事業	波賀元気づくりネットワーク協議会	・・・	14	頁
【一般枠】				
6 まなB'sテクノ	まなB'sテクノ	・・・	17	頁
7 西播磨山城イベントスタンプラリー 2024	西播磨山城ガイド協会	・・・	20	頁
8 県立大学学生有志と地域住民との文化的 交流による光都の活性化	兵庫県立大学学生有志 スパークル	・・・	22	頁
9 「赤穂の結婚式」 ～恋人の聖地赤穂御崎の魅力発信～ AKOシーサイドウェディング	えん結びプロジェクト実行委員会	・・・	26	頁
10 ジャズによる地域活性化促進事業	Sing Super Sax Jazz Orchestra	・・・	29	頁
11 西播磨を音楽でつなぐプロジェクト	西播磨を音楽でつなぐプロジェクト	・・・	32	頁
12 勝手にYAKUDOUカフェ	しんぐうNext	・・・	36	頁

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：西播磨 UT 環境整備事業

団体名：< 龍野コンシェルジェ >

所在：たつの市龍野町富永 1439 ガレリア内

代表：丸尾とし子

目的	国や兵庫県の推進する「ユニバーサルツーリズム」の概念や必要性を西播磨の観光資源（店舗や施設など）に広めるとともに、「ユニバーサルツーリズム」の対象の成る方々が安心して西播磨を観光できる環境を整備することを目的とする。
事業内容	令和6年度の実施 1 ユニバーサルツーリズムの啓発・・・チラシ、冊子を作成し、西播磨内外の観光関係者、福祉関係者に配布する。 2 手話観光ガイドの育成・・・手話や筆談、道具などを利用して、観光地の案内やコミュニケーションの支援をする人材の育成 3 「UTストラップ」活用整備・・・ストラップを作成し、龍野と坂越で実証実験を行う。
地域	西播磨全域
事業の効果	1 について チラシ4種（UT啓発、観光資源向け、UT対象者向け2種）と冊子（UTガイドブック）を作成し、西播磨7市町の観光・福祉関係に配布するとともに、市外県外にも配布（予定）。龍野城下町の店舗にユニバーサルツーリズムの情報をチラシや冊子に掲載したが、それにより店舗の意識が高まり、後日「認知症サポーター養成講座」を店員に受講させる店舗があった。 2 について 西播磨7市町に募集チラシを配布。西播磨以外（神戸、岡山など）からの参加者もあった。観光ガイドとしての心得、スキルアップについて理念的なことを学んだが、参加者が地域の観光資源に関する興味関心が高まった。講座終了後に実践活動をする「コミュニケーションサポートチーム」として令和7年度から活動していく。 3 について 実証実験に際し、ユニバーサルツーリズムに協力してもらえる店舗や人とのネットワークができた。実証実験に障害をもつ方に参画していただくことができ、助言をもらうことができた。それによりサービスを提供する側、受ける側がともに良い環境づくりに取り組むことができた。神戸新聞、KissFM神戸に取り上げられていただき広報ができた。

事業経過	場 所		事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
	1について 9月～2月	ガレリアアーツ&ティー	毎週金曜日に編集会議を行い、編集作業を行った。 1月下旬にチラシ4種、冊子完成。西播磨7市町の観光、障害福祉、高齢福祉、児童福祉関連の課や団体、他市他県の観光案内所などに配布。	2～4名	2名
2について 5月6月	龍野城下町	ガイドをするエリアの学習 (毎日新聞の取材あり)	受講生 12名 講師1名 ほか	2名	
7月～2月 第1土曜	龍野中央公民館	観光ガイドがすべきこと。心得などの学習。観光地を手話や筆談で説明する学習。	受講生 10～12名 講師1名	2名	
3について	ガレリアアーツ&ティー	「UTストラップ」作成に関する会議	2名	2名	
	煉瓦屋R 9月3日	坂越での「UTストラップ」実証実験の準備に関する打ち合わせ (神戸新聞取材)	4名	2名	
	龍野城下町 10月26日	実証実験① 軽度認知障害のある方の観光	1名	1名	
	坂越 1月25日	実証実験② 聴覚障害のある方の観光	2名	1名	

手話観光ガイド育成
案内する観光地を歩く (6月1日)



「聴こえ」に関する講座 (7月6日)



手話の講座 (9月7日・1月4日)

説明の発表 (12月7日)



UTストラップの説明@坂越 (9月3日)

UTストラップ実証実験 (10月26日・1月25日)



協働の相手方	<p>協力者 中村千穂氏 (赤穂観光協会所属 手話観光ガイド) おかん倶楽部 (赤穂市) 龍野と坂越の飲食店 軽度認知障害と聴覚障害のある当事者の方々</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ●2025 年は、補助金で作成できたチラシ、冊子を活用して西播磨の観光資源にユニバーサルツーリズムの普及啓発を行うとともに、ネットワークを強化して、配慮の必要な方が安心して西播磨の旅を楽しめるよう取り組んでいきたい。 ●手話観光ガイドの講座から誕生した「コミュニケーションサポートチーム」と既存のイベントをつなげ、耳の不自由な方がイベントを楽しめるようお手伝いをしていきたい。 ●龍野城下町と坂越で行った「UTストラップ」実証実験から得た課題の解決を行い、「UTストラップ」の活用を開始するとともに、他の店舗や地域、資料館等の施設においても活用できるようにしていきたい。

6. 6. 19	上郡さとラボ	会議 ・豊岡コウノトリの郷公園視察報告 ・地域づくり活動事業内容について ・講演会の依頼 ・川まつり PR ブース内容について	11人	
6. 6. 24	上郡町役場	懇談会 ・上郡町長・上郡町教育長・上郡民報社	町役場 8人	2人
6. 7. 3	上郡さとラボ	会議 ・学習会の質問事項確認 ・川まつり PR ブース展示作業	8人	
6. 7. 17	上郡町生涯学習 支援センター	講演会及び懇談会 演題 【今なぜ有機農業が必要とされるのか】 講師【西村いつき氏】	10人	
6. 7. 27	上郡町千種川親 水公園	かみごおり川まつり PR 展示ブース出展	不特定多数	8人
6. 8. 19	上郡町立 高田公民館	会議 ・人工巣塔候補地について ・9月10日講演会について	6人	
6. 8. 29	高田地区	人工巣塔設置候補地視察 ・コウノトリの郷公園指導 ・4候補地視察	9人	3人
6. 9. 10	上郡町立 つばき会館	出前講座 演題 【コウノトリの野生復帰と自然環境】 講師【衛藤 寛 主任指導主事】	57人	7人
6. 10. 6	高田台自治会館	会議 ・フロンティア祭について	6人	
6. 10. 26	播磨科学公園都 市芝生広場	西播磨フロンティア祭 PR 展示ブース出展	不特定多数	7人
6. 11. 24	上郡町中野	地鎮祭 「ひなが飛び立つ日を心待ちに」	9人	
6. 11. 25	上郡町中野	人工巣塔設置作業	10人	3人
6. 11. 30	上郡町立 高田公民館	講演会 演題【人と自然の共生のシンボル コウ ノトリ】 講師【田中哲也氏】	45人	5人
6. 12. 7	高田台自治会館	会議 ・お披露目会・銘板について	12人	
6. 12. 14	上郡町中野公民館	巣塔お披露目会 ・活動経過報告・集合写真	24人	10人
6. 12. 16	上郡町中野	巣塔見学ウォーキング	20人	5人
6. 12. 17	上郡町立 高田公民館	説明会 高田連合自治会会議にて報告	自治会長 16人	2人
6. 12. 26	上郡町中野	ヤギレンタル除草作業	1人	3人
7. 1. 13	上郡町中野	巣塔見学ウォーキング	32人	8人
7. 1. 18	高田台自治会館	会議・研修視察・勉強会について	10人	
7. 1. 20	上郡町中野	田んぼピオトープ作り	2人	

令和6年7月27日かみごおり川まつり



令和6年9月10日出前講座



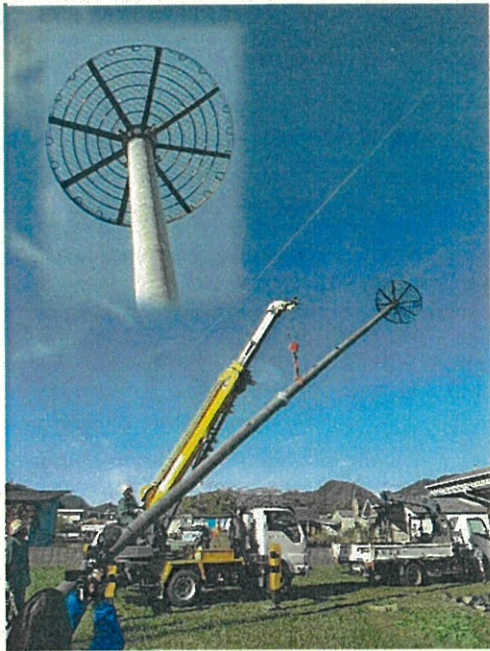
令和6年10月26日
西播磨フロンティア祭



令和6年11月30日講演会



令和6年11月25日人工巣塔設置



令和6年11月24日地鎮祭



令和6年12月14日
巣塔お披露目会



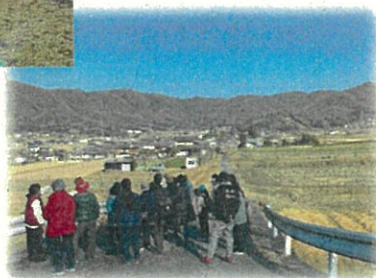
令和6年12月26日
ヤギレンタル除草作業



令和7年1月13日巣塔見学ウォーキング



令和7年1月20日
田んぼビオトープ



<p>協働の相手方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県立コウノトリの郷公園 ・高田連合自治会長会 ・神戸新聞社 ・上郡民報社 ・上郡町 ・上郡町教育委員会
<p>今後の展望</p>	<p>コウノトリの人工巣塔が設置され、その見学ウォーキングを実施したところ、地域の多くの方が関心を持って参加してくださいました。</p> <p>中でも小学生の男児は、帰宅後早速、見学時に覚えたコウノトリの出生地や足環の色を調べ、絵を描いて友だちに見せたようです。</p> <p>今後は、コウノトリの餌場となる環境の整備、とりわけ水田の水を豊かにする取り組みや米作りに必要な肥料の成分調整など、地域の方々と共にコウノトリにとって安全な餌場が提供できるよう活動を進めていきたいと考えています。</p> <p>この取り組みは、コウノトリだけではなく、私たち人間にとっても、安全な暮らしができるものと考えます。</p> <p>人工巣塔周辺の掃除や草刈りなどの課題も探って行きながら、次世代を担う子ども達と一緒に、この町の将来の夢を育んでいく活動に繋げていきたいと考えています。</p> <p>※ 昨春電柱に巣作りをしかけていた2羽のコウノトリが、1年経過した今もこの地にとどまっています。</p> <p>今春は、安全な新しい人工巣塔に営巣をしてくれることを願うばかりです。ひなの誕生を地域の多くの人々が心待ちにしています。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

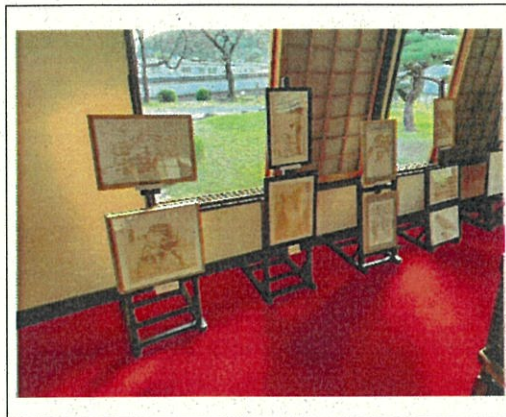
事業名： 醬（ひしお）アート展

団体名： < 三軌：兵庫西播磨の会 >

所在： たつの市龍野町片山2-9

代表： 横田 京悟

目的	西播磨を南北に貫流する揖保川は、西播磨の大地を潤し、様々な文化や経済を育んできました。その水は、軟水で醤油の醸造に適し、古くから、淡口醤油業が栄え、江戸時代から京都に登せ醤油として、京料理に使われ、経済の交流が盛んとなりました。この醤油は、ひしおやむらさきとも言われ、その風味から日本料理には欠かすことができない調味料となっています。この醤油で紙に絵を描く展覧会を全国規模で開催し、西播磨の産業と文化を広くPRし、産業の振興と文化の向上、更には人々の交流を図ることを目的としています。				
事業内容	西播磨市域はもとより、醤油醸造地である全国の7市町に、「水の郷」をテーマにした醤油で描いた絵画を募集し、全国規模の作品展示会を開催しました。龍野城で「醬アート展」と題して実施し、観覧者が審査員となり、点数評価していただき、受賞者を決定する展覧会で、939人の方が審査員となっていただきました。好評を得たため、その後、龍野町下川原のギャラリーYYKにおいて1か月間の公開作品展示を実施しました。一方で、子どもたちを対象としたお絵描きワークショップも開催しました。				
地域	醤油アート展は、たつの市龍野町下霞城の龍野城、龍野町下川原のギャラリーYYK。ワークショップは、たつの市龍野町富永のピアサポートすぎな。参加者は兵庫県内。				
事業の効果	西播磨は揖保川の清流に育まれた醤油の産地であり、また、日本全国に醤油醸造業が栄え、同様に水の恵みであることの認識を深め、全国に向けた公募展により、全国規模の出展者や観覧者により西播磨地域を超えた交流が図れるとともに、産業と文化の振興、そして、賑わいのある観光の振興が図れます。				
経過事業		場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	8月3日、4日、10日、11日	ピアさぼーとセンター	子どもと障害者のお絵描きワークショップ	20人	2人
	11月18日～23日 11月18日～23日	事務局長宅	入選作品審査 作品展示準備	35人 50人	5人
	11月23日～ 12月1日 12月10日	龍野城 事務局長宅	作品の公開展示 審査集計、大賞・奨励賞・佳作賞決定	審査委員 939人 観覧者 1,000人	7人
	12月21～ 1月26日	ギャラリーYYK	醬アート展の延長展示	300人	3人
	2月1日	作品撤収、返却	作品撤収、返却		2人



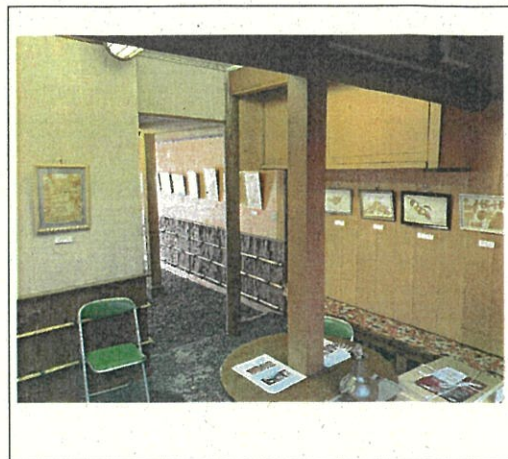
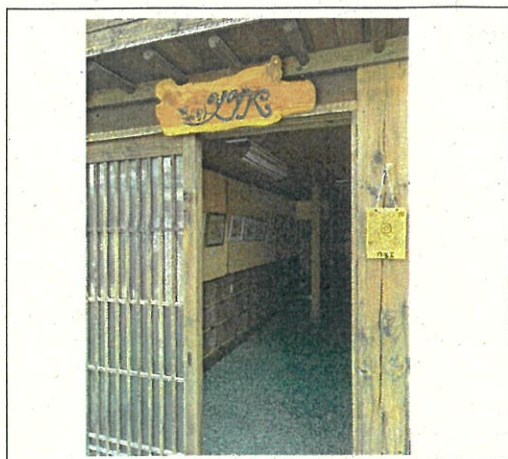
【〈醬アート展〉令和6年11月23日(土)～12月3日(月)】

回	日	時間
第1回	8月12日(月)	10:00~12:00
第2回	8月17日(土)	10:00~12:00
第3回	8月24日(土)	10:00~12:00
第4回	8月25日(日)	10:00~12:00

会場: 高尾山公園管理事務所 2階 公民館
 受付: 高尾山公園管理事務所 公民館
 電話: 0791-63-0907
 FAX: 0791-63-1118



【〈お絵描きワークショップ〉令和6年8月12日(月)・17日(土)・24日(土)・25日(日)】



【(醬アート展の延長展示) 令和6年12月21日(土)～令和7年1月26日(日)】土・日

<p style="writing-mode: vertical-rl;">協働の相手方</p>	<p>日本に西播磨と同じように、水の文化、産業があり、それぞれがその中で特異な進化をしてきました。その異なった環境にある人たちにも参加していただき、圏外の方々との交流を図りながら、相互の同一性や相違点を発見し、自らの魅力の再発見につなげていきたいと考えています。</p> <p>地場産業の関係者や観光協会の方々とのタイアップを行い、本事業を更なる展開を行っていききたいと考えています。</p> <p>また音楽家とのコラボレーションを企画し、同時開催を行います。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">今後の展望</p>	<p>次年度以降においては、早い時期に公募を行い、全国の醤油サミットに参画している市町に周知し、全国規模の展覧会に発展していきたいと考えています。</p> <p>また、会期中に音楽家による演奏、歌とのコラボレーションを実施します。</p> <p>一方、子どもたちや障害者の方々を対象としたお絵描きワークショップの継続実施も行います。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：STAR GATE 2024 ～私たち移住しました！～

団体名：＜ 陰陽師の里江川フェスティバル実行委員会 ＞

所在：兵庫県佐用郡佐用町豊福 285-4

代表：岡野俊昭

目的	STAR GATE 2024 ～私たち移住しました！～ にご来場の皆様で移住を考えている人たちの背中を押すとともに、江川の魅力を発信し、江川地域の活性化に繋がります。				
事業内容	オープンマーケット、ふれあい喫茶、コンサート、栗拾い体験、ドローン操縦体験、紙漉き体験及び隣接の江川地区文化センターでの作品展等のフェスティバルを通じて地域内外から約500名の多くの来場者があり、移住者の女子会トークに併せて西播磨暮らしサポートセンターや佐用町空き家バンクによる空き家バンク登録相談会や移住相談会を実施しました、引き続き、移住定住を進めます。				
地域	佐用町江川地域				
事業の効果	<p>負の資産と言われる空き家への関心を向け、移住の推進を図ることを主テーマとしてフェスティバルを開催し、地域団体からの出店、地元出身のロック歌手のコンサートなどで地域内外から約500名の方に来場いただきました。</p> <p>「移住女子の本音トーク」を開催し、既に江川地域や佐用町内に移住されている方がこの地域を決めたきっかけや理由、移住して良かったと思うこと、皆さんから見た地域（佐用）の魅力、いま取り組んでいることや頑張っていること、また、困っていることや失敗したことなどを来場者に聞いてもらうことで、地域の魅力の発信や移住を考えている人へのアドバイス、移住者を受け入れる地域の態勢づくりに寄与できたと思います。</p> <p>円満な移住の推進ができれば、地域にとって負の遺産である「空き家」が「地域の宝」となることへのきっかけに寄与できるのではないかと期待しています。</p>				
事業経過	月日	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	4月25日	江川地区文化センター	<ul style="list-style-type: none">令和6年度事業応募の確認応募申請書類の確認スタッフ増員の対策検討	6名	10名
	7月15日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none">STARGATE2024 企画会議事業計画及び予算の調整	10名	17名
8月3日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none">出店者、出演者の確認と依頼ポスター、チラシ原稿確認	10名	17名	

	8月17日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担調整、機材確認 ・ポスター、チラシ発注 	5名	17名
	8月30日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・出店者、出演者の確定 ・ポスター、チラシ配布 	5名	17名
	9月29日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・会場設営機材のチェック ・中庭イベント進行調整 	5名	17名
	10月4日	STAR GATE 会場 (旧江川小)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場清掃及び設営 ・当日の進行など最終確認 	14名	17名
	10月5日	STAR GATE 会場 (旧江川小)	<ul style="list-style-type: none"> ・STAR GATE 2024 ～私たち移住しました！～ 	500名	17名
	10月6日	STARGATE 会場 (旧江川小)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場片付け ・反省会 	10名	17名
	12月8日	江川地区文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成・確認 ・決算書作成・確認 	3名	17名
	1月8日	江川地区文化センター (オンライン会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告 ・決算報告 	10名	17名

写真 (10/5・エントランス風景)



写真 (10/5・移住女子トーク風景)



写真 (10/5・移住相談コーナー)



写真 (10/5・中庭イベント風景)



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	JUVAC ドローンエキスパートアカデミー兵庫校 (運営会社/(株) T&T) 江川地域づくり協議会 佐用町観光協会
今後の展望	これからも継続して実施することにより、移住定住が見込まれます。

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 「めざせ！波賀森林鉄道定期運行」安全対策事業

団体名： < 波賀元気づくりネットワーク協議会 >

所在： 宍粟市波賀町上野 850-3

代表： 会長 松本真人

目的	かつて林業最盛期に活躍した「波賀森林鉄道」をキーワードにして、新たな観光スポットを創出し、市外からの観光客を増加させることによってまちの賑わいを再生させる				
事業内容	「波賀森林鉄道開鉄 100 周年」を迎える本年、町内にある観光宿泊施設フォレストステーション波賀地内に、昨年度完成した 108m の周回コースを延長し総延長 678m の鉄道を敷設する計画である。完成は 10 月末を予定しており軌道整備は市内外からのボランティアによる活動を中心に行い、完成後は、新たな観光スポットとして、鉄道ファンや親子連れなど、市外からの来訪者を増加させるため、定期運行をめざす。 そのため、本年度において、定期運行のための、機関士・整備士養成講座等の開催、併せて実施する波賀森林鉄道遺構トレッキングツアー説明会を行った。また、活動報告会の開催により活動周知と支援者の拡大を図った(予定)。				
地域	宍粟市波賀小・中校区				
事業の効果	新たな観光スポットの誕生によって、波賀町への関係人口を増加させることができる。そのことが、波賀町が誇る豊かな森林資源を活かしたまちづくりに寄与し、まちの魅力発信つながり、結果として移住・定住の促進を図ることができた。				
① 事業経過		場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	毎月第1水曜日	団体事務所	月例会議		120人
	② 9月11日	立山砂防事務所ほか	運行技術習得講習		5人
	③ 9月15日	フォレストステーション波賀	機関士養成講座	8人	7人
	④ 9月16日	加西市	北条鉄道運行視察		6人
	⑤ 9月18日	フォレストステーション波賀	波賀森林鉄道遺構ツアー説明会	17人	5人

⑥	10月9日	フォレストステーション波賀	軌道整備見学会	24人	8人
⑦	10月11日	フォレストステーション波賀	整備士養成講座	6人	8人
⑧	10月26日	フォレストステーション波賀	総延長 678m軌道完成式典	300人	12人
⑨	11月25日	フォレストステーション波賀	整備士養成講座	3人	4人
⑩	11月29日	団体事務所	機関士・整備士養成講座	3人	4人
⑪	1月28日	団体事務所	機関士・整備士養成班会議		6人
⑫	2月23日 予定	はがてらす	活動報告会	100人	12人
⑬	2月28日 予定	波賀地内	波賀森林鉄道遺構トレッキングマップ・運行リーフレット完成		



①毎月第1水曜日 月例会議



②運行技術習得講習



③9月15日 機関士養成講座



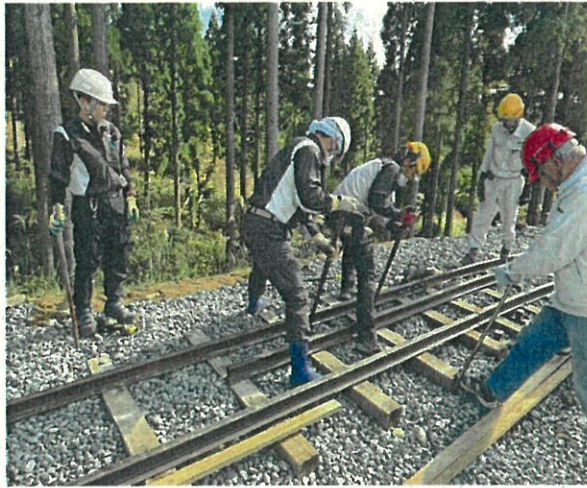
④9月16日 北条鉄道運行視察



⑤9月18日 遺構ツアー説明会



⑥10月9日 軌道整備見学会



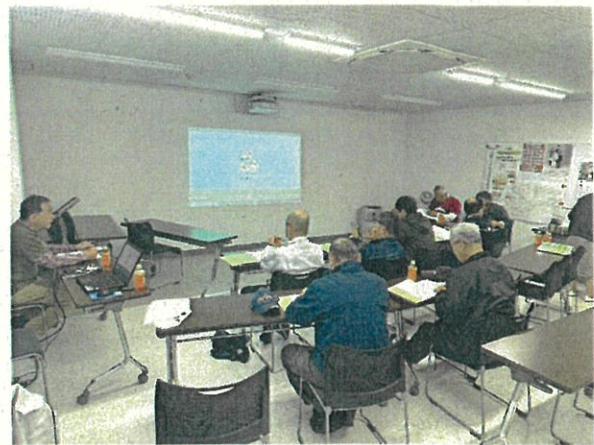
⑦10月11日 整備士養成講座



⑧10月26日 678m軌道完成式典



⑨11月25日 整備士養成講座



⑩11月29日 機関士・整備士養成講座

協働の相手方	宍粟メイプル株式会社、上野水谷林野委員会、宍粟市、宍粟市商工会、しそ森林王国観光協会、宍粟市地域おこし協力隊、市内園所・小中学校ほか
今後の展望	完成した678mの波賀森林鉄道東山線の定期運行 波賀森林鉄道遺構トレッキングツアーの実施

事業実施報告書

事業名：まなB'sテクノ

団体名：< まなB'sテクノ >

所在：兵庫県赤穂郡上郡町光都2丁目23-1

代表：富賀見 礼子

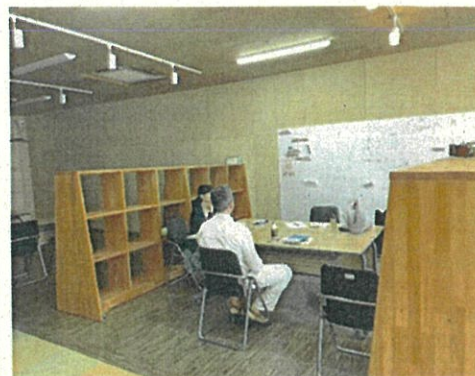
目的	<p>○生徒数が大きく減少している光都の小中学校に通う生徒のために、学習支援や ICT 教室などを行い、子供にとっても親世代にとっても魅力ある地域にすること。</p> <p>○地域住民にとって生活のための大切なインフラである「コープミニテクノポリス店」の経営継続のため、住民参加のイベントを実施するなどし、応援をしていくこと。</p> <p>○地域住民参加のサークルや集いの場を設け、光都周辺住民が住みやすいまちづくりにすること。</p> <p>○近年増加している外国人のために地域住民との交流イベントを実施し、外国人にとっても光都が住みやすいまちになること。</p> <p>○自然いっぱいの光都の魅力を発信し、より多くの方々に光都を訪れてもらうこと。</p>				
事業内容	<p>地域応援プロジェクトとして</p> <p>① 学習支援、ICT・AI 教室の実施 ② 住民参加のサークル・イベントの実施</p> <p>③ 外国人参加のイベントの実施 ④地域の活動をサポートする。</p> <p>コープミニ応援プロジェクトとして</p> <p>今後も営業が継続されるように地域住民で活動していく。</p>				
地域	播磨科学公園都市周辺地域				
事業の効果	<p>学習支援や ICT・AI クラブなど学びの場を提供することで、他の地域にはない魅力となり、子育て世代の移住が期待できる。</p> <p>地域住民の声からサークルやイベントを実施し、交流の場を設けることで、地域の魅力作りや地域課題の共有などに繋がる。</p> <p>継続的な活動をすることで、様々なまちの魅力を発信し、播磨科学公園都市外からの移住促進に繋がる。</p>				
事業経過		場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	毎週 日曜日	光都プラザ cotohana	『寺子屋てくの』 ボランティアでの学習支援	2～4名	1名
	月1回	光都プラザ cotohana	光都日本語クラブ	1～2名	1名
	月1回	光都プラザ cotohana	ウクレレサークル	5～10名	2名
	7/6	光都芝生広場	七夕イベント 浴衣試着体験会(外国人対象) 「てくてくマーケット」	40名	7名

事業経過	8/24	光都芝生広場	コープ応援 おにぎり・冷凍ジュース販売 「光都夏祭り」	1000名	5名
	7/27 8/1.2	光都プラザ cotohana	夏休み子供イベント 「宿題お助け会」 科学工作・絵画	30名	4名
	10/19	光都プラザ cotohana	コープ応援 カレーフェスティバル レトルトカレー試食会	80名	5名
	10/26	光都芝生広場	皿回し体験 コープ応援チラシ配布 「光都フロンティア祭」	500名	1名
	11/4	光都プラザ cotohana	コープ応援 外国人と地域住民の交流会 たこやきパーティー（試食）	20名	2名
	11/17	光都プラザ cotohana	スマホ相談・AI 講座・e スポーツ体験 コープ応援 焼きおにぎり試食	50名	2名
	12/21	光都プラザ cotohana	地域交流クリスマス会 コープ応援 音楽演奏と試食会	70名	10名
	1/5	光都周辺	冬休み子供イベント 「光都冬山探検」	6名	1名
	毎月 金曜日	光都プラザ cotohana	光都 ICT クラブ サポーター	10名	1名
	毎月 第4土曜	光都周辺	光都里山整備 サポーター	15名	2名
	毎月 第1土曜	光都芝生広場	光都てくてくマーケット サポーター	100名	2名
	不定期	たつの市・ 上郡の保育園 等	生き物教室 皿回し体験イベント参加	50～ 100名	1名

週日曜日 学習支援
「寺子屋てくの」(4/28)



月1回 日本語クラブ(8/11)



月1回 ウクレレサーク (11/10)



七イベント (7/6)
外国人対象浴衣試着体験会



夏休み子どもイベント (7/27)
夏休み宿題お助け会 科学工作



光都フロンテアまつり (10/26)
皿回し体験・コープチラシ配布



スマホ相談・AI 講座・e スポーツ体験会 (11/17)



冬休み子どもイベント (1/5)
光都冬山探検



協働の相手方	
今後の展望	今後も、地域住民の交流の場を作り、魅力ある地域づくり、地域の課題解決など地域住民と共に取り組んでいきます。

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 西播磨山城イベントスタンプラリー2024

団体名： < 西播磨山城ガイド協会 >

所在：姫路市南町 76 番地 城陽ビル 2F

代表：森 喜一

目的	イベントスタンプラリーの実施により地域内外の山城ファンへ広く知って頂くきっかけとし、ガイドツアーで安心・安全に登城して頂き、西播磨と山城の魅力を感じて頂く。また、スタンプラリーとフォトコンテストの実施により、応募意欲をもって西播磨へ足を運んで頂き、SNSでの拡散・知名度の向上を狙う。				
事業内容	西播磨にある主要な山城のうち8か所で登城ガイドツアーを実施し、参加ごとにスタンプを付与。2つ以上集めた方の中から抽選で20名に西播磨の特産品セットを贈る。同時開催の「インスタフォトコンテスト」は、スタンプラリーに参加していない方も応募可能とし、西播磨の山城の魅力を拡散。賞品は地域の企業やお店から協賛を募った。				
地域	西播磨全域				
事業の効果	スタンプラリーの実施により一度ではなく2度以上西播磨の山城へ足を運んで頂くことができた。昨年にはなかった城を2城加えたことで、昨年からのリピーターと新たな参加者のどちらも獲得し、参加者同士の交流や参加者とガイドの交流も生まれた。インスタグラムで実施したフォトコンテストでは、初回実施のため応募数は少なかったものの、新たなフォロワーも獲得した。 また、イベントの実施についてX(旧ツイッター)で告知したところ拡散が見られ、インスタグラムの閲覧数も伸びた。西播磨山城について知って頂くきっかけを作ることができたと感じている。				
業 事		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
	4/10	くつろぎの縁側優・優	企画会議	9	9
	6・7月		協賛店舗募集		
	7・8月		印刷物作成		
	9月		パンフレット配布、告知		
	10/27	西播磨全域	インスタフォトコンテスト実施スタート		
	10/27	利神城	登城ガイドツアー	23	3
	11/3	長水城	登城ガイドツアー	18	4
	11/10	感状山城	登城ガイドツアー	27	7
	12/1	白旗城	登城ガイドツアー	13	3
	12/15	楯岩城	登城ガイドツアー	22	5
	12/15	揖保川町アクアホール	実施会議		9
	1/12	龍野古城	登城ガイドツアー	22	5
	1/26	尼子山城	登城ガイドツアー	22	3

	2/9	有年山城	登城ガイドツアー	40	8
	2/22 予定	相生市立図書館	抽選・審査会並びに賞品発送		10 予定



10/27 利神城



11/10 感状山城



12/15 楯岩城



2/9 有年山城

協働の相手方	
今後の展望	山城ファンからの感想や要望に多い、まだ行ったことのない城やスポットを案内できるよう、整備を整えて来年もリピーターと新たな参加者の獲得に繋げるとともに山城を目的に西播磨へお越しいただいた方に、城周辺の魅力も伝える工夫を加え、西播磨での滞在時間を長くできるように工夫していきたい。

事業実施報告書

事業名：県立大学学生有志と地域住民との文化的交流による光都の活性化

団体名：＜ 兵庫県立大学学生有志 スパークル ＞

所在：播磨科学公園都市

代表：理学部3年 南笠歩希

事務局長 伊藤恭子

目的	<p>播磨科学公園都市の中核大学として設置された兵庫県立大学理学部の学生の多くは光都の寮で生活している。大型研究施設が近接し、緑に恵まれ広々とした環境は、勉学を進める上では最適であるが、昼間人口はわずかに増加傾向にあるにもかかわらず夜間人口は減少し続け、街全体の活気が失われつつある。</p> <p>より魅力ある街づくりのためには、インフラの整備ももちろん必要であるが、研究者、若いエネルギーを持つ兵庫県立大学理学部生と地元住民がより交流を持ち、互いの力をそれぞれ発揮して新しい輝きを町にもたらすことが必要であると考えている。本事業は、中核大学である兵庫県立大学理学部の学生有志が、住民、研究者に対して、日頃活動している得意分野を発信し、文化的交流を深めて、この地域の特性を生かしながら輝きをもたらすことを目指す。</p>
事業内容	<p>兵庫県立大学生と地域住民、播磨科学公園都市内の勤務者との交流の場を提供することにより、異なる年代の人たちの間の壁を取り払って交流する。昨年度、文化的交流により僅かでも、街の雰囲気を変えていくことが出来たと感じる事が出来たので、本年度は、より参加型のイベントを増やし、これまでの交流からもう一步踏み込んだ年代を超えた交流を行った。例えば自然科学研究会のメンバーと共に周辺地域に出かけたホテル観察会、光都周辺の松ぼっくりやドングリなどを用いたリース作り、子供と大学生との共演といった試みを、好評を得て行うことが出来た。また、フロンティア祭、躍動カフェなどの兵庫県主催のイベントにも参加した。</p> <p>また不要となった書籍や教科書を無償で提供いただき、必要とする人に繋ぐことにより、能登半島地震災害義援金を届けることが出来た。これはSDG'sの取組みとしても有益であった。</p>
地域	播磨科学公園都市
事業の効果	<p>兵庫県立大学の学生の発信の場を提供したことにより、例えば吹奏楽部などの団体への演奏や出演依頼が増えたなど、学生団体にとってもよい刺激が得られた。また、卒業や進学に伴って不要となった教科書や書籍を無償で寄付してもらい、それを必要とする人に繋ぐことにより募金額も含めて、総額111,870円を義援金として届けることが出来た。この活動は、義援金を届けることが出来ただけでなく、教科書を購入するのに苦勞する学生を助ける事にもなり、またSDG'sの取組みに参加するという意識を持つことにもつながった。</p> <p>このように、科学公園都市の中核大学で科学を学ぶ学生が、地域住民と研究者と交流したことにより、他の地域では見られない刺激がこの地域のコアとなる光都プラザを中心に生まれたと考えている。この事業を継続することにより、学生、研究者、子供から高齢者まで幅広い年代の住民とのつながりは、現在の播磨科学公園都市が置かれている状況を打破する糸口となると考える。</p>

	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
4月4-5日、6日	兵庫県立大学 研究棟ロビー 光都プラザ エ スプラナード	2023年度末に無償で提供された 教科書及び書籍の販売 不要な書籍の回収及び提供され た書籍の販売	多数	4
6月8日	角亀周辺	第9回イベント：自然科学 研究会のメンバーとホテル観察 会 先着10名	13	3
6月25日	たつの市 多目的ホール	兵庫県躍動カフェ (西播磨地域)に参加		2
6月29日	光都プラザ コトハナ	第9回 光都大作戦 with 自然 科学研究会 ～光都周辺の生き 物たち～	45	2
8月17日	光都プラザ 会議室	第10回 光都大作戦 with ス トリングスオーケストラ：伊 藤さくらによる公開レッスン	60	2
8月24日	光都 芝生広場	後援イベント：光都夏祭り JAZZ 研、吹奏楽団のステージで の演奏応援	多数	3
10月26日	光都 芝生広場	後援イベント：西播磨フロンテ ィア祭：吹奏楽サークルによる ステージを応援。ブースで自然 科学研究会&将棋サークル	多数	3
11月16日	光都プラザ コトハナ	第11回 光都大作戦 with 将棋 サークル ～将棋&ボードゲー ム～	35	3
12月7日	光都プラザ コトハナ	第12回 光都大作戦 with 劇団 ぼちゃん ～公演ヴィア・ドロ ローサでほほえんで～	35	3
11月30日	光都プラザ コトハナ	第13回 光都大作戦 with lilly of the valley ～リー ス作り～	40	3
1月11日	光都プラザ コトハナ	第14回 光都大作戦 with JAZZ 研	50	3
2月23日	光都ふれあい スポーツ交流 館	第15回光都大作戦 with ふれ あいスポーツ交流館 ～大ボッチャ大会～		

不要となった教科書や書籍を
必要とする人に繋ぐことによる
能登半島地震災害義援金を集める取組み

無償で本を提供して下さった方、またそれを購入して下さった方による支援活動の結果、募金額も含めて111,870円をたつの市の義援金窓口へ届けた。



この活動はSDGsの観点からも重要な活動である。本活動はたつの市広報にも取り上げられた。

書籍売り上げ (4/4-5) 学内	80,500円
書籍売り上げ (4/6) 光都プラザ	7,100円
書籍売り上げ(5/17-18) 学内	11,630円
募金額 (4/4-15) 学内	12,640円
合計	111,870円

6月25日 躍動カフェに参加

たつの市役所 多目的ホールで開催された、知事と地域で活躍する県民が直接対話を行う”躍動カフェ”に、スパークル会長の南埜歩希が参加した。この企画は1月に開催予定だったが、能登半島地震災害のために延期となっていた。



第9回 光都大作戦 with 自然科学研究会

6月29日には、自然科学研究会のメンバーが、大発生して生活にも影響を与えているカメムシの生態についての解説してくれました。子供から大人まで興味津々で聞いて、多くの質問も出ました。



6月8日に第9回イベントとして、自然科学研究会のメンバーと先着10名の希望者と角亀周辺の川でホタル観察会を行った。ホタルだけでなく夜光性の昆虫の観察も行うことが出来た。



8月17日 第10回 光都大作戦 with
ストリングスオーケストラ

伊藤さくらによる公開レッスン

海外で活躍するヴァイオリニスト伊藤さくらさんと、チェリストのGustav Wocheerさんによる、カノンとアンダンテフェスティーポの2曲の公開レッスンをを行った。プロの熱い指導に目を輝かせ、学生たちが上達していく姿が見られました。



レッスン後は、プロ奏者2人による庄巻の演奏も楽しめました。



12月7日 第12回 光都大作戦 with 劇団ぼちゃん
公演 ~ヴィア・ドロローザでほほえんで~

脚本から全て、兵庫県立大学演劇部のメンバーにより作成企画された公演を、光都のコトハナで開催しました。

普段なかなか見ることが出来ない、本格的な演劇に圧倒され、公演後も観客の方から多くの感想や質問を頂きました。



11月30日

第13回 光都大作戦 with Lilly of the Valley

光都周辺で、松ぼっくりや木の実を集めて様々な色に染色し準備し、それらを使って思い思いのリース作りに挑戦しました。

子供達が多く参加して、集中してリースを作る姿が見られました。光都在住の講師の方にも応援して頂きました。



<p>1月11日 第14回 光都大作戦 with JAZZ研</p> <p>昨年のジャズの演奏会には、子供の参加はすくなく、よりに身近に感じてもらえるように、音楽の教科書にある”威风堂々、木星”を子供のリコーダーと鍵盤ハーモニカの演奏と、大学生の共演という試みを行った。</p>  <p>最初は緊張気味だった子供達も最後には笑顔に。</p> <p>演奏後には、ジャズ研のメンバーに楽器の説明をしてもらい、体験させてもらって、音楽の力を感ずることが出来ました。</p> 	<p>後援イベント</p> <p>8月24日：光都夏祭り 吹奏楽団とJAZZ研によるステージを応援。夏空のもと、暑さに負けない若さ溢れる演奏で夏祭りを盛り上げた。</p>  <p>10月26日：西播磨フロンティア祭では、吹奏楽団、将棋サークル、自然科学同好会の参加をサポートし、発表の場を提供することが出来た。</p> 
--	--

<p>協働の相手方</p>	<p>兵庫県立大学 吹奏楽サークル、自然科学同好会、 ストリングスオーケストラ、将棋サークル、演劇部、JAZZ 研 ふれあいスポーツ交流館</p> <p>Kurinoki 音楽事務所</p>
<p>今後の展望</p>	<p>昨年は、例えばストリングスオーケストラ、JAZZ 研は、日頃練習した成果を聴衆の前で披露するという形式で行った。それは、コロナ禍で発表の機会が得られなかった大学生にとっては非常に有意義なものであった。</p> <p>本年度めざした、参加型のイベントは、世代を超えた繋がりを感じることが出来るものとなったと感じた。自然科学研究会とのホテル観察会、また大発生で住民の関心が高いカメムシの生態についての解説は、住民との距離を縮めるのに有効であった。ストリングスオーケストラに対するプロ奏者の公開レッスンでは、メンバーがキラキラした目で得られるものは全て学ぼうとする姿勢に感動を覚えた。また、リース作りにおいては、この光都の豊かな自然があつてこそその材料を用いて、それぞれの思いの作品作りに取り組むと共にまた参加者の中でのつながりも出来た。ジャズ研のメンバーは、子供達との共演という提案は、普段行っている取組みとかなりかけ離れていたにもかかわらず、快く受け入れてくれて、子供達との共演を楽しんでくれたことには感謝の想いである。</p> <p>この流れを大事にしながら、繋がり範囲を広げて行くことを目指していきたいと思う。</p> <p>また、SPRING8、SACLAで催されている公開イベントや講習会に、学生がより積極的に参加できるよう、学生側の窓口になって、一人では参加しづらいと感じている学生の背中を押す役割が出来ないかと考えている。それによって、研究者とのつながりも作っていったらと考えている。</p> <p>年度末から年度初めの時期を迎える時期に、不要となった教科書や書籍を必要とする人につなぐことによる、能登半島での相次ぐ自然災害により被災された方々への支援活動も続けていく。</p> <p>またこの活動を通じて、よりSDGsの取組みに対する意識を高めていくことを目指す。</p>

事業実施報告書

事業名：「赤穂の結婚式」

～恋人の聖地赤穂御崎の魅力発信～AKOシーサイドウェディング

団体名：＜ えん結びプロジェクト実行委員会 ＞

所在：赤穂市さつき町6-12

代表：水野 香保里

目的	<p>〔地域の現状〕</p> <p>「えん」は「ご縁」の「えん」、日本遺産でもある「赤穂のお塩」の「えん」です。赤穂の町は「塩作り」の歴史と共に発展し、人と人の縁を結んできました。人間関係が希薄な現代だからこそ、人と人の繋がりが大切だと実感しています。</p> <p>私達は、赤穂を中心に日頃それぞれが地域の魅力を活かしたまちづくり活動を行っている経験を活かして人と人の縁を結ぶ活動を行い、この地域の交流人口を増やし、地域の元気を創出したいと考えています。</p> <p>「赤穂の結婚式」は4年前から若者世代に地元で結婚式を挙げてもらいたいと、赤穂城を中心に「赤穂オンリーワン結婚式」を展開してきました。地元で行うことで、経済的な面でも安価で挙げることができ、また地域経済も潤い、特にコロナ禍で疲弊していた町を明るくすることができました。</p> <p>〔地域の課題〕</p> <p>現代は結婚への価値観も変わり、生活重視で挙式をしない方、挙式に費用をかけたくない方も増えています。また、個人を尊重し独自のスタイルを求める方も多いです。</p> <p>赤穂には赤穂城の他にも魅力的なところが多くあり、赤穂で結婚式ができることを知っていただき、是非人生の節目である結婚式を赤穂で挙げてもらいたいと考えます。</p>
事業内容	<p>「～恋人の聖地赤穂御崎の魅力発信～AKOシーサイドウェディング」</p> <ul style="list-style-type: none">・時期 2024年10月～2025年1月・場所 赤穂市御崎地区・2スタイルの結婚式を行います。 <p>◎桃井ミュージアム野点席茶婚式とフォトウェディング</p> <p>普段一般の人は入れない離れの邸宅の海に見える野点席で「茶婚式」を行います。そして、純和風の邸宅でのフォトウェディングも行い、記念の一日を過ごしていただきます。また赤穂の伝統文化「雲火焼体験」を行っていただき記念品を作り、伝統文化の継承も行います。</p> <p>「茶婚式」</p> <p>新しい和婚のスタイルとして近年人気の茶婚式は、家族やごく親しい友人だけを招待する少人数の結婚式です。和やかにお互いの心を敬うという意味の「和敬清寂(わけいせいじゃく)」や「一期一会」一生に一度の出会いを大切にするといった茶道の心得を取り入れ、茶の湯に乗った儀式を行う儼かなものです。「宗教にこだわりたくない」「人前式とは違うスタイルにしたい」そんな方にお勧めです。</p>
内容	<p>◎トゥクトゥク海岸ドライブフォトウェディング(御崎海岸等)</p> <p>新郎新婦がトゥクトゥクに乗って、海岸をドライブしながら自然中で行うロケーションフォトウェディング。約2時間かけて人気のスポットで写真撮影を行います。</p>

「雲火焼展示館桃井ミュージアムとトゥクトゥク」
 赤穂御崎が一望できる赤穂御崎公園の山手に位置し、穏やかな瀬戸内の島々を眺めることができます。播州赤穂の伝統工芸品「雲火焼」と「赤穂緞通」、日本庭園の伝統技法「水琴窟」をメインに展示しており、瀬戸内の景色と水琴窟庭園を眺めながらのティータイムは、まさに至福のひとときです。工芸品の展示だけでなく、親子クジラの噴水やプロポーズの丘もありますので、お子様連れやカップルの方も楽しい時間を過ごされています。また、観光地としての人気の御崎の海沿いの道を三輪自動車の「トゥクトゥク」で来館者の無料送迎サービスを行っています。トゥクトゥクは東南アジアで多く使われ、車体の両側にドアがなく景色の見やすさや風を感じる爽快感が魅力で、観光タクシーとして導入する観光地が増えています。潮風に吹かれて走る爽やかなミニドライブを楽しめます。



募集のポスター




PRチラシ (データのみ)

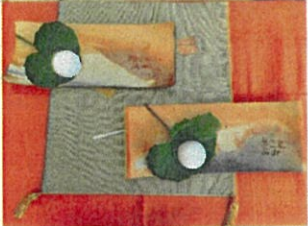
地域	赤穂市御崎				
事業の効果	<p>〔事業の効果〕 1組でも多くの方に赤穂で一生の思い出の時を刻んでいただくことができる。また、今回の結婚式の写真や動画でチラシやPR動画を作成し、SNS等を活用し今後のPRに繋がります。定着してきた「赤穂お城ウェディング」に加え、新たな赤穂の結婚式として広く発信することができる。それにより、赤穂の魅力を伝えることができる。</p>				
事業経過		場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	2024年 8月16日	赤穂市	ウェディングカップル募集開始 広報活動（赤穂市広報等）		
	8月22日	プラット赤穂	「赤穂の結婚式」写真展 ～10月3日		3人
	10月5日		カップル決定		3人
	10月8日	桃井 ミュージアム	新郎新婦による雲火焼体験	2人	3人
事業経過	11月19日	桃井 ミュージアム	茶婚仕式	5人	9人
	11月19日	桃井 ミュージアム	トゥクトゥク フォトウェディング	5人	7人

12月25日	赤穂御崎	PR動画完成		
2025年 2月17日		PRチラシ完成(データのみ)		
		※実行委員会(反省会)は随時行いました		

写真 2024/10/8



雲火焼体験



雲火焼記念品

写真 2024/11/19



茶婚式



雲火焼記念品お披露目

写真 2024/11/19
トゥクトゥクに乗って
フォトウェディングに出発




写真 2024/11/19



キラキラ坂にて



赤穂御崎展望台にて

協働の 相手方	雲火焼展示館桃井ミュージアム
今後の 展望	まだまだ他にも赤穂の魅力的なスポットは数多くあるので、赤穂オリジナルの結婚式を行いたいです。また、観光として赤穂に結婚式で訪れてもらえるよう行政とも連携していきたいです。

事業実施報告書

事業名： ジャズによる地域活性化促進事業

団体名： < Sing Super Sax Jazz Orchestra >

所在：姫路市広畑区蒲田732-35

代表：山村 翼

目的	たつの市新宮町において、ジャズ音楽を通じた地域活性化を図る。世代を超えた交流の機会を創出し、地域の魅力を広く発信することで、地域の賑わいを取り戻し、住民の絆を深める。				
事業内容	<p>○音楽イベントの定期開催 地域住民が参加しやすいジャズライブを定期的で開催 クリスマス会や国際交流イベントとのコラボ</p> <p>○住民の参加促進 ワークショップやセッションを通じた学びの場の提供</p> <p>○観光誘致と地域PR たつの市周辺の市町村での演奏活動により、地域の歴史や文化を織り交ぜた音楽イベントを通じて、新宮町の文化や歴史を広くPRする。</p>				
地域	たつの市新宮町、佐用郡三日月町、姫路市				
事業の効果	<p>○定期ライブ・国際交流フェスティバル、クリスマスコンサート ミュージシャンの招聘や、他の音楽グループとの共同開催（12月15日朝日スポーツクラブ）により、事業の質の充実、連携・協働関係の強化につながった。規模の拡大により、ステージでのトークを通じ、地域の魅力を紹介するなど、発信力の強化につながった。</p> <p>○まちおこしイベントへの参加 彼岸花まつりを契機に、地域づくり人材とのネットワークが拡大、新たに東栗栖、三日月のまちおこしイベントにも参加し、各事業の主催者・支援者とのネットワークが一層広がるとともに連携体制を強化できた。</p> <p>○ワークショップ（主催）・音楽交流会（参加） 音楽をテーマに、活動に取り組むキーパーソンとのネットワークが拡大、地域住民を巻き込んだ、地域づくりの盛り上がりに向けた足掛かりとなった。</p>				
事業経過		場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	9月15日 10月20日 11月17日 12月15日	朝日スポーツクラブ	定期ライブ、スポーツクラブでの演奏を通じ、音楽と健康にまつわる話を交えながら、活動拠点である新宮町のアピールを行う。	7人 9人 6人 6人+コラボ団体5人 各来場者 20~30人	2人
	9月22日	新宮ひがん花まつり	宮内遺跡やひがん花の紹介を交えた新宮町の魅力を伝え、次年度の来場を促す。	9人 来場者 約3000人	2人

10月27日	三日月地域 武家屋敷マル シェ&ウォーク	三日月町の町おこしイベントに参加。歴史を大切にしたい想いは新宮町も同じであることを伝え、新宮町の良さをアピール。	8人 来場者 約300人	3人
12月8日	WAO を楽しもう国際交流フェスティバル2024	小学・中学生の参加も多いイベントであるため、宮内遺跡やひがん花の名所をわかりやすくアピール。	7人 来場者 約650人	1人
12月21日	新宮町公民館 クリスマス会	地域住民の方々と音楽を通じて交流。活動内容を披露し、一体となって楽しむ。	9人 来場者 約80人	2人
2月10日	ワークショップ	音やジャズについて、一般の方も参加いただき、一緒に学ぶ機会を作り、新宮町に来ていただくきっかけとなる予定。	4人 来場者 4人	1人
12月1日 12月14日 1月19日 1月26日 2月8日 2月16日	強化練習	イベントに向けて曲練習を行う。インターネットに接続できる部屋を使用し、模範演奏を聴く時間を設け、伴奏を使って本番に向けた練習を行う。	約9人	0人
9月8日 9月21日 10月6日 10月13日 11月10日 11月16日	定期練習	基礎練習からイベントに向けてパート練習、個人練習を交えながら全体練習を行う。	約9人	0人
2月24日	検討会	開催予定	約9人	



新宮町宮内遺跡公園にて行われた、新宮ひがん花まつりに参加。客席から離れてはいたが、映画音楽などを取り入れた親しみのある曲を披露し、楽しんでいただいた。



みかづき地域のイベントにお声がかかり初参加。お客様に手拍子参加していただく。新宮町にも宮内遺跡やひがん花などの名所があり、西播磨と一緒に盛り上げようと呼びかけした。



国際交流イベントで客席と近いステージのため、学生や海外の方が多かったが、音楽は世界共通であることを感じた。ジャズの魅力や新宮町の魅力を伝える。



毎月の朝日スポーツクラブでの定期ライブのうち、12月15日は、相生で活動する davada さんとコラボ開催。相生・姫路のお客様に向けて、活動拠点の新宮町やひがん花まつりの案内も同時に行った。




新宮公民館のクリスマス会は我々の1年の集大成の大イベント。60名のお客様が来られ、1年間支えてくださった感謝の気持ちを演奏で伝え、今後も地域とともに歩んでいく思いが一つになった。



姫路・相生の一般の方が参加され、「音」をテーマに実践だけでなく、質疑応答では大変勉強になったと好評をいただく。新宮町と当バンドの紹介も行い、楽器をされない方も始めてみたいと思ったのご意見もあった。

協働の相手方	北新町自治会
今後の展望	北新町自治会と協働し、ひがん花まつり、という音楽イベントからさらに活動が広がり、年配の方から学生まで、地元の方々との交流が深まったと考える。今後も地域との一体感が強まることで、新たなつながりができ、さらなる観光客誘致にも資していくと考えているが、今回、事業期間が短かったため十分ではないと感じている。次年度ではさらに、高齢の方や障害のある方も関わりを持って取り組んで行けたらと思っている。

事業内容	<p>3 音楽交流会（予定）</p> <p>日時 令和7年2月23日（日・祝）13:30～16:30</p> <p>場所 西播磨文化会館 講堂（たつの市）</p> <p>参加者 150名（予定）</p> <p><プログラム></p> <p>①Jazz Sing Super Sax Jazz Orchestra</p> <p>②混声合唱 音楽講座（歌唱）受講生</p> <p>③フルート独奏 フルード 服部ひかる ピアノ 服部有希子</p> <p>④女声合唱 ハーモニーAi</p> <p>⑤ピアノ独奏 篠原めぐみ</p> <p>⑥オーボエとピアノ HAT TRIO</p> <p>⑦チェロ独奏 チェロ 原田芳彰 ピアノ 大高美沙</p> <p>⑧混声合唱 Oberster Chor, AIOL</p> <p>⑨合同演奏 「ふるさと」</p> <p>○関係者交流会（音楽交流会終了後） 各出演団体代表者等30名程度で情報交換会を実施</p>				
					
地域	西播磨地域全域				
事業の効果	<p>歌唱や器楽による演奏活動や音楽講座の実施を通して、技術の向上と幅広い世代との交流が図られ、西播磨地域の音楽活動の振興に寄与できた。</p> <p>西播磨地域を中心に芸術文化（音楽）活動を行っている個人や団体と地域との交流の場を設けることにより、音楽による西播磨地域の活性化につながられた。</p>				
事業経過	日時	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	R6.7.26	なぎさホール	委員会設立打合せ	1	6
	8.2	カフェ	事業打合せ	1	3
	8.9	西播磨文化会館	協力団体との打合せ	1	3
	9.4	カフェ	事業計画作成	1	3
	9.13	なぎさホール	事業打合せ	1	6
	11.7	西播磨文化会館	協力団体との打合せ	1	2
	11.22	なぎさホール	事業打合せ	1	6
	11.29	西播磨文化会館	第1回音楽講座（歌唱）	62	4
	12.13	西播磨文化会館	第2回音楽講座（歌唱）	68	4
	R7.1.12	カフェ	出演者との打合せ	2	2
	1.31	西播磨文化会館	第3回音楽講座（歌唱）	59	4

日時	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
R7. 1. 31	なぎさホール	事業打合せ	1	6
2. 1	エミーホール	音楽講座（器楽）	8	4
2. 21(予定)	西播磨文化会館	第4回音楽講座（歌唱）	61(予定)	4(予定)
2. 23(予定)	西播磨文化会館	音楽交流会	150(予定)	6(予定)
3. 7(予定)	なぎさホール	事業打合せ	1(予定)	6(予定)

R6. 11. 29(金) 音楽講座（歌唱）①



R6. 11. 29(金) 音楽講座（歌唱）①



R6. 12. 13(金) 音楽講座（歌唱）②



R7. 1. 31(金) 音楽講座（歌唱）③



R7. 2. 1(日) 音楽講座（器楽）



R7. 2. 1(日) 音楽講座（器楽）



R7.2.1(日) 音楽講座 (器楽)



R7.2.1(日) 音楽講座 (器楽)



協働の相手方	西播磨文化会館
今後の展望	今年度の取り組みをより多くの演奏家や地域の方々に広報し呼びかけることで、今後さらなるレベルアップされた事業展開が期待できる。

<音楽講座 (歌唱) 受講生 感想>

西播磨で初の「音楽講座」、こんなに嬉しいことはありません。中條先生の温かなお人柄、豊かな声量で、合唱の基本からわかりやすく教えて戴き、歌がとても身近になりました。イタリア語でカンツオーネまで歌う事ができ驚きです。受講生の発表会も……ドキドキ、ウキウキ「私にもできるかな」新しい音楽の世界が楽しみです。



(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 勝手にYAKUDOUカフェ

団体名： < しんぐうNext >

所在： たつの市新宮町鍛冶屋565

代表： 石井 靖敏

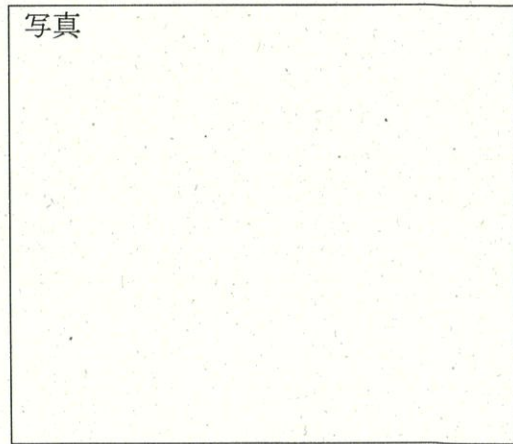
目的	人口減少が著しいこの西播磨地域において、地域全体として次世代の担い手不足が深刻な状況になっている中、若者の流出や少子高齢化などにより地域産業においても後継者問題や業績の低迷による廃業が増加してきており、今後もこの地域の課題として増大すると考えられる。このような課題に向き合っていく為には、行政や既存の組織にゆだねるだけではなく若い世代が意見を出し合い、未来にむけて新たな取り組みを進めるような動きをしていく事が重要だと考える。各市町の取り組みだけでなく西播磨全体のネットワークを作り、地域全体で様々な課題について向き合い、アイデアを共有し、新たな活動を生み出していく事が大事だと考える。				
事業内容	今年度、『躍動カフェ』でご縁を頂いたメンバーと一緒に産業をテーマに交流を深め、西播磨地域の商品作り、魅力作りや発信について取り組みを進めてきました。また、令和6年6月に開催された兵庫県の事業【躍動カフェ】で様々な分野において、地域の方から出されたアイデアをさらに細かく深掘りするために『西はりま☆みらい会議』を開催したいと思います。今回のみらい会議では、6月に出された意見をより具体化し、事業プログラムとして計画を立案し、来年度に【ツナゲルつながる西播磨プロジェクト】として進めていきたいと考えています。そのような事業計画や新たなチーム作りを進める事で、『地域の強みを活かした賑わいと活力のあるまち、選んでもらえる西播磨』を実現していきたいと考える。 ※今回の会議では、躍動カフェで出された解決策の具体化を目指す。				
地域	西播磨地域				
事業の効果	地域産品の魅力作りをテーマに集まったメンバーが、市町の枠を超えた西播磨という大きな地域での協働を生み出すことによって、新たな地域の魅力を発見したり地域産品を共創できる事を示すことができ大変うれしく思っている。 また、躍動カフェで示されたそれ以外の地域課題についても同様に協働やつながりを増やす事によって解決策が実際に動き出すことを実証できればこの地域の発展の可能性も見えてくると思います。 2月23日に開催予定である『西はりま☆みらい会議』で集まってくださったメンバーで来年度その土台をつくっていったらと大いに期待している。				
事業経過	場所	事業内容		参加者数	スタッフ数
	令和6年9月13日(金)	ギャラリーアーツ&ティー	西播磨の地域産品の魅力作りと発信について考える会議を開催。廃材で作る鞆にレザーを使用し、西播磨の農産物で作った新商品を詰め込んで東京で開催されるイベントに出品することを目指す。	8名	1名

令和6年 11月15日(金)	龍野市商工会 議所	商品開発について現状報告と試作品の試食。 今後の展開について考える。	6名	1名
令和7年 1月31日(金)	ギャラリーアーツ&ティー	商品開発の現状や課題について情報共有。2月23日のみらい会議についてや4月商品出品を考えている【アースデイ】について話し合う。	6名	1名
令和7年 2月23日(日)	『西はりま☆みらい会議』開催予定。	令和6年6月に実施された【躍動カフェ】において、様々なテーマについて地域の方から出されたアイデアをさらに細かく深掘りし、より具体化した事業プログラムを作り出す会議を開催したいと計画している。	定員 約30名	10名 程度

写真



写真



【令和7年1月31日(金) 第3回勝手に躍動カフェ会議 ガレリアにて】

※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	躍動カフェに参加された経営者や活動家の皆さん。
今後の展望	引き続き、チームの活動は継続していきながら商品開発を進めていきます。 また、みらい会議で作った計画書を、実際に来年度【ツナゲルつながる西播磨プロジェクト】として進めていきます。